

**福井県都市計画マスタープラン（小浜上中都市計画区域）に関する
公聴会時の意見に対する県の考え方**

○県民の皆様からの御意見 4件（1名）

	意見の概要	県の考え方
1	<p>都市づくりの基本理念において、「用途地域外でも人口が減少傾向である」という表現が適さない地域があることについて、正しく表現して頂きたい。</p> <p>小浜市生守・和久里は、外部より移住し人口が増加しており、交通渋滞など白地であることでのミニ開発による弊害も大きい。問題・課題をしっかりと明文化することが今後の事業化にも大きく影響するということの重要性を認識して頂きたい。</p>	<p>「都市づくりの基本理念」には、用途地域外全域の傾向として人口が減少していることを記載しましたが、小浜市の中で開発に伴い特に人口が増加している生守・和久里地区について配慮した記載とします。</p>
2	<p>白地地域の住宅集中について、土地利用の規制・誘導を進めていくとあるが、規制だけを望んでいるわけではなく、これまでの過程や現状を踏まえ、今後さらに住みよい地域となるための対策と計画が必要である。</p> <p>開発行為の規模を引き下げようとする一方的な規制にならないよう慎重な対応をお願いしたい。</p>	<p>「土地利用の規制・誘導方策の活用方針」では、規制だけではなく、「ミニ開発が相当数行われている小浜市生守地区等では、良好な都市基盤が整備されない不良な市街地の形成を防止するため、「地区計画」など各種方策を活用し適切な土地利用、都市基盤の整備を図る。」としています。</p>
3	<p>白地地域（生守・和久里）の課題改善のための地区計画について記載があることは前進と捉えている。</p> <p>ミニ開発の弊害を規制ばかりで対応するのではなく、安全地帯（公園などの広場）や内水氾濫を防ぐ貯留施設等も視野に入れ、住民が安心・安全な暮らしができる「地区計画」となることを願っている。</p>	<p>生守・和久里地区では、計画的に都市基盤が整備されるよう、また居住環境を損なうような施設の立地を抑制できるよう小浜市を支援し、市の地区計画等の活用により、良好な地域環境の形成を目指します。</p>
4	<p>野代区・生守区において度重なる浸水被害があり、森川の河川改修については、県に申し入れしており、また河川整備計画にも記載されている。令和6年3月議会での小浜市長の所信表明でも、多田川の整備完了次第、森川整備の事業化を進めたいと進言があることから、本計画にも森川の河川改修を明文化すべき。</p>	<p>森川の河川改修については、事業化されたことから、本計画にも記載します。</p>